

統一連NEWS

発行 安保廃棄 沖縄県統一連

〒900-0012

那覇市泊2-20-7山里アパート101号

電話098-988-8172 FAX098-988-8173

辺野古新基地押しつけに抗議 県民会議で抗議行動

沖縄防衛局による辺野古新基地建設のための埋め立て承認申請書の提出を絶対に許せないとして、統一連が加盟する「基地の県内移設に反対する県民会議」は、3月25日より警戒態勢をとることを確認していました。しかし、3月22日に沖縄防衛局は名護漁協と補償金の合意がとれたとして承認申請書の沖縄県への提出を強行。小野寺防衛大臣は21日時点で提出時期は未定としていました。

昨年12月に、辺野古新基地建設のための環境影響評価書の補正書を提出したときも、前日に森本防衛大臣（当時）は提出の準備は整っていないとしていました。もはや「理解を得る」どころか、県民に対する真っ向からの挑戦です。

● 沖縄防衛局前で抗議集会を連打

そこで、県民会議では3月25・26両日に朝9時から沖縄防衛局前で抗議集会をおこないました。抗議集会後、参加者は現場で座り込み、抗議の意思を沖縄防衛局につきました。

● 官房長官来県にも抗議

辺野古新基地建設の「理解を得る」ためとして、菅官房長官が4月3日に来沖しました。しかも安倍総理と同様、抗議行動がやりにくい住宅街にあるホテルで仲井真知事と会談。「説明責任を果たした」というアリバイづくりです。そこで県民会議は県民ひろばで抗議集会を開催。集會中、オスプレイ2機が集會前を通過していました。

さて、仲井真知事が辺野古新基地建設について「無理だ」と述べていることから、埋め立て承認申請を却下できるよう知事を支えようという声があります。却下させる運動は必要ですが、知事は菅官房長官との会談で「普天間の移設先以外は全部賛成」と表明しています。高江の着陸帯建設だけでなく基地の強化・固定化、日米同盟推進の諸策を推進する立場です。

「4.28」式典反対！中止せよ！ 4.3集会とデモ行進

サンフランシスコ講和条約、日米安保条約が発効した1952年4月28日から61年がたちます。この日は、沖縄では、日本と切り離され、アメリカの全面占領下に置かれた「屈辱の日」と言われてきましたが、千島や小笠原も切り離されているので、まさに国民全体にとっての屈辱の日です。しかし、安倍政権は4月28日を「主権回復の日」として記念式典を行おうとしています。

菅官房長官が出席した4月3日、統一連は「屈辱の『4.28』に記念式典を開催する安倍政権を糾弾し、式典の中止を求める4.3集会」を開催しました。集会で新垣代表幹事は「陸も海も米軍に奪われ、日本国憲法の中でも人間の尊厳と平和的生存権が脅かされている。こういう日本国民がいるにもかかわらず、主権回復の式典など国民の名において絶対に許すことはできない」と述べました。その後、共産党、県労連、医療生協、新婦人、平和委員会の代表が挨拶し、「4.28『主権回復の日』式典に反対し、中止を求める決議」が採択されました。決議はその日のうちに安倍総理あてに送付されました。

集会後は牧志公園までデモ行進をおこないました。集会参加者は130人でした。

◆ お知らせ ◆

「子どもたちの未来のため
辺野古埋め立て申請の撤回を求める
緊急市民集会」に行きましょう！

— 稲嶺市長も参加します —

*日時 4月5日（金）
午後6時30分より

*会場 名護市民会館中庭